福岡和白病院腎・泌尿器外科で骨盤臓器脱に対して
ロボット支援腹腔鏡下仙骨膣固定術を受けられた患者様へ

当院　腎・泌尿器外科では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。
この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を経て、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	当院で実施した骨盤臓器脱に対するロボット支援腹腔鏡下仙骨膣固定術の術前術後での治療効果の比較検討
当院の研究責任者（所属）	吉田　毅（福岡和白病院　腎・泌尿器外科）
本研究の目的	当院における導入初期の臨床成績についてデータを抽出し、文献上の初期成績と比較検討を行い、学会にて研究発表を行うとともに今後の治療にフィードバックすることで、より良い治療を患者様に提供することを目的とします。
調査データ該当期間	2024年6月1日～　2026 年 12月31日
研究方法	●調査の対象となる患者様 福岡和白病院で 2024 年 6 月 1 日～　2026 年 12 月 31 日までに骨盤臓器脱に対してロボット支援下腹腔鏡下前立腺全摘除術をうけられた患者様 ＜電子カルテに記載のある診療情報＞ 診療録に記載されている問診項目/症状スコア、診療情報、臨床検査データ、画像所見、手術記録、看護記録等　の情報 ① 0.5、1、3、6、9、12 ヶ月後、以後 1 年毎の症状スコア、残尿量、内診のデータ等 ② 治療 30 日以内における有害事象の発生の有無 ③ 治療 30 日以内における治療に関連した治療合併症の発生等
個人情報の取り扱い	収集したデータは、患者様を直接特定できる個人情報は削除し誰のデータかわからなくした（匿名化という）上で統計的処理を行います。研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合せ先	福岡和白病院　腎・泌尿器外科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：吉田　毅